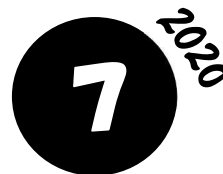




今月の題字写真 >>>

ガクアジサイ

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA TOSABORI
OSAKA Y.M.C.A. CROSS CULTURAL CENTER
1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU, OSAKA, JAPAN, 550-0001
<http://osaka-tosabori.wix.com/tosaboriys>
CHARTERED JUNE 5th 1951



2020～2021 年度 岩原 義則 会長主題

A man keeps cherishing his old knowledge,

so as continually to be acquiring new,

(温故知新)

主題

- 国際会長 “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP” (価値観、エクステンション、リーダーシップ) Jacob Kristensen (デンマーク)
- アジア太平洋地域会長 “Make a difference” 「変化をもたらそう」 David Lua (シンガポール)
- 西日本区理事 “Let's do it now !”
2022 に向けて誇りを持って All is well. 古田 裕和 (彦根シャトー)
- 中西部部長 “ワイズの力を信じて、自ら行動しよう” 吉田由美 (大阪なかのしま)

〈 Kick-off EMC-MC 〉

新たな自分、そして新たなメンバーを 迎入れる体勢を心がけよう。

竹園 憲二 EMC 事業主任(京都 ZERO クラブ)

強調
テーマ

終わりに、兄弟たち、喜びなさい。完全なものになりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。

(コリントの信徒への手紙 二 13章11節)

聖句

普通の日常の大切さをおもう

岩原 義則

コロナウイルスが一段落した模様で日常が戻りつつあります。

振り返ってみると、学校が休みになる、交通が止まる、大阪が止まる、日本が止まる、世界が止まる前代未聞の歴史的なできごとでした。

緊急事態において、人はなにを考え、どう振る舞うのか。人の本性がみえたこともありました。

反対に社会が完全に止まらなければできなかったこともありました。テレワークにより一斉に社用パソコンが持ち出し OK となったり、テレビ会議がこんなに流行ったのはコロナ騒動がなければ変化しなかったものです。普段ではできないような壮大な社会的実験がいろいろな場面であったとおもいます。

ワイズ活動も、例会や会合が中止となり、いつも定期的に会えていた人と会えなくなる寂しい事態が続きました。

日常に戻りつつあるというのは、そうしないと生きていけないということでもあります。

これ以上社会を止めたままにしたらやっていけないという切実さがあります。

なにかを教訓にしつつ、また前の日常にとりあえずはもどって本当によかったとおもいます。

ワイズも新しい年度に入ります。土佐堀クラブは70周年の記念すべき年度となります。

普通の日常を大切にしつつ普段気づかないような何か少し新しいことができればとおもいます。

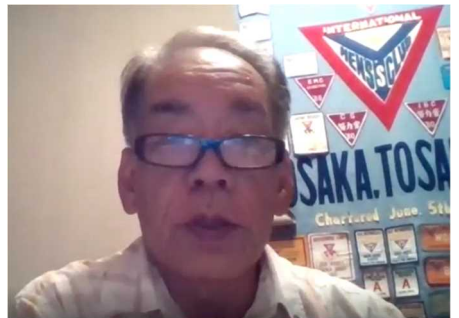
報告者 ・ 丹吾 礼

6 月 例 会 報 告

6月例会はZOOM会議による開催でした。出席者は工藤会長、岩原メン、岡野メン、奥田メン、川岸メン、小路連絡主事、福島メン、和田早苗メネットと私の9名になりました。工藤会長の後ろには、土佐堀クラブのバナーが飾られ、開会閉会の点鐘も行われました。ワイズソングやYMCAの歌も工藤会長がCDを操作しながらと、例会と同じように進みました。プログラムは、ゲスト無しでメンバースピーチ。メンバー全員が3分間スピーチを行って、優秀なスピーカーは工藤会長が表彰。決められているのは時間だけで、短い方も長い方もおられました。時間・テーマ・話題・話の内容など、上手に話すには準備が必要だと感じました。結果は、1位 奥田メン 2位 福島メン 3位 川岸メン。プレゼントは後日送られるそうです。おめでとうございます。WEBではなく、普段の例会でもやりたいと思います。3月からできていなかった誕生日・結婚記念日のお祝いし、今年度のしめくりとなりました。

日 時： 2020年6月16日(火) 19:00~20:30
場 所： WEB 開催 (ZOOM)
出席者： 工藤、岩原、岡野、奥田、川岸、小路、丹吾、福島、和田メネット

食事の時間がないので1時間半で例会を終了し、閉会点鐘の後はフリータイムを設け、自由に会話しました。近況報告やワイズ活動に思うこと、土佐堀クラブのこれからについて…等、例会の2次会のような雰囲気でおしゃべりができたように思います。WEB 例会後のオンライン飲み会ができそうな気がしました。



工藤会長、1年間お疲れさまでした。



報告者 ・ 福島 眞一

6 月 役 員 会 報 告

日 時：2020年6月23日(火) 19:00~20:30
場 所：オンライン役員会 (Zoom で開催)
出席者：工藤、岩原、奥田、川岸、小路、丹吾、福島、和田メネット

【協議事項】

- 7月キックオフ例会について
日時：7月21日(火) 18:30~20:20 会場：YMCA 会館10階101
担当：B班 岩田、工藤、北村、小坂井、只野、丹吾
司会：岩田 受付：川岸 聖句：奥田 TOS ファンド：工藤
会費1,500円(中西部3役はクラブの招待)
食事：魚友(担当：福島 1階受取：和田メネット) 振込にする
人数確認：ブリテンに例会の出欠は書記福島まで！を記載する。
(灰谷さんは工藤ワイズが確認)
内容：新旧会長交代式 司式：吉田由美中西部部長
出席予定 吉田部長、生雲書記、保田会計、杉浦事務局長
各事業主査の出欠は未定(27日新旧評議会後判明)、中西部役員は5分、事業主査は3分をめでにスピーチをしてもらう。
クラブ総会：議長 岡野直前会長
2019~2020年度事業報告・会計決算報告(工藤会長・丹吾会計)
2020~2021年度事業計画・会計予算(岩原新会長・丹吾会計)
岩原新会長の決意と方針
- 2020~2021年度前期半年報について
7月1日現在・7月10日提出締切(工藤から提出)。
- 7月会員総会の資料作成について
7月例会時までには会計監査と総会準備で主要メンバーが集まる。
(会計監査は水口ワイズから奥田ワイズに交代)
- 次年度 例会予定について
会場：YMCA会館10階101号室 を8月、12月、1月以外の月第3火曜日仮予約済8月例会は、納涼例会としてYMCA会館で通常のように開催。(予約は工藤ワイズ) 内容は別途検討
- 西日本区LD委員 丹吾ワイズがLD委員をやる
- YMC A留学生支援の件：中西部評議会で議論があるので、その結果を踏まえて支援策を検討。
- 70周年記念について：西クラブとまだ打合せが出来ない。
- その他 ワイズソングとYMCAの歌の伴奏は和田メネットにお願いする。

- ### 【報告事項】
- 6月例会 報告
6月16日(火) 新型コロナウイルス感染防止のためZOOMで例会を行った。9名参加。
 - 新旧中西部評議会は6月27日、西日本区事務所とZOOMを使って行う予定。
 - 会計報告
 - 6月19日開催の西日本区財務委員会の報告が奥田ワイズからあった。
・2020~2021年度前期の西日本区区費は一律免除が決まった。
・「新型コロナ基金の設立について」議論した。(意見)・クラブ会費が負担となってドロップするワイズメンに援助するのは疑問。各クラブで工夫するべきではないか。会費の高いクラブもあるようだ。
・国民へのコロナ支援の給付金を当てにして集める主旨は理解しがたい。
(結論)・工藤会長が評議会での議論で意見を述べると共に、内容を把握する。
 - 西日本区引き継ぎ式(WEB)出席 川岸、丹吾、和田メネット
 - 共同の祈り(WEB)出席 川岸、和田メネット

6月例会出席者数		6月例会出席率		B F		ニコニコ		TOS ファンド	
メンバー	8名	会員例会出席者	8名	切手	234 pt	7-12月分	45,085円	2019年度 40,400円	
広義・功労会員	0名	メーカーキャップ	0名	現金	22,500 pt	2月分	7,400円		
メネット	1名	合計	0名						
コメント	0名	現会員数	14名						
ビジター・ゲスト	0名	出席率対象	10名						
出席者合計	9名	出席率	%	前期合計	22,734 pt	前期合計	52,485円	残高合計 1,475,167円	

会員近況報告

例会が再開したので、このコーナーは今月で終了します

・岩田 晋

コロナ問題が終息しないまま、数か月目になるうとしています。「新しい生活様式」とは言っても、前時代的な方法が幅を利かせている私には、不可解なことが多く、以前の状態に早く戻れないものかと思案している毎日です。特に、日韓両国の往来が不可能となり、再開の情報が待たれます。

さて、そんな状況下の6月29日の午後、YMCA 国際専門学校の授業で「ボランティア」について1時間近くお話をする機会がありました。オンラインの講義ではなく、教室に集まっての旧方式で、今回が3度目です。座学ではありますが、一般的な話ではなく、現実の話がよいであろうと判断し、韓国留学時代に経験した様々なボランティア活動についての話です。韓国ワイズや高麗大学の学生奉仕団から誘いがあり、冬場の寒さしのぎのためのオンドル用練炭配達、これはリヤカーに練炭を沢山積んで、恵まれない家庭に配達をするという韓国独特のボランティアがあります。「이웃돕기 운동」と言います、和訳すると「お隣さん、助け合い運動」とも言います。小さいリヤカーに練炭を満載し、ソウルの高台にある家まで行くのですが、学生が4名ほどのチームに分かれて坂道を急ぎます。練炭は手渡しですから、学校の基地へ戻ると、互いの顔を見合わせては、「その顔、何？」とからかい合ったりします。これは数年経験しました。大学総長が陣頭指揮していたのが印象的でした。東シナ海で貨物船が座礁し、オイルが海に流れ出るという事故がありましたが、漁場を守るために、忠清道のワイズから誘いがあり、新聞紙と雑巾で海面のオイルを吸い取るという古典的な方法の大海作戦そのものです。そして、秋にはキムチ作り作戦で、韓国メネットの厳しい指導を受けながらのキムチ作りです。

こういった具体例をお話するのですが、やはり、経験してみると、色々なことが解り、レクチャー内容に不足するようなことはありません。やはり、三現主義です。YMCA で学ぶ学生さんに接してみるのは大きな刺激になります。これは学生さんのためと言うより、岩田にとっては良い学習の機会です。火曜日は京都で仕事をしなければならず、皆さんにお会いするチャンスは殆どありませんが、まもなく、その仕事もなくなります。韓国大邱の日本武将・沙也可の里訪問の延長線で、鉄砲の日本伝播について色々調べていて、鉄砲生産地の堺・国友・根来・日野での3現主義は何とか終わりました。

・岩原 義則

コロナといいながら、うちの家族は元々休みの日でも外出はあまりしないので、自粛生活もそれほど違和感はありませんでした。自粛と消極的にとらえがちですが、高校生になる息子と、おそろくなにもなければドンドン離れていってしまうだけとなっていたものが（ま、そうならないといけないのですが）、いったん立ち止まって多く話せたと思いました。とても他愛もない、必要じゃない、どうでもよい会話でしたが、そんなのが本当は重要なかもしれません。

・奥田 時夫

気温も上がり夏らしくなってきました。コロナ禍も一段落のようですが第2波があるので気を緩めてはいけません。不必要な外出やマスクは着用しましょう。

1月上旬に長島温泉へ行き気をよくしていましたが1月下旬に病気が再発し、抗がん剤を変えることにより快方へ向かい、6月現在元気を取り戻しつつあります。

6月下旬には日本三大美人の湯（湯の川温泉（島根県）、川中温泉（群馬県））の一つ和歌山県にある龍神温泉へ行くことができ身も心もリフレッシュすることができました。この温泉は湯あたりがよくお肌がサラサラとし、さすが日本三大美人の湯といわれるだけのことはあります。

7月は長野県美ヶ原「王が頭温泉」～「浅間山温泉」、8月には島根県「玉造温泉」～兵庫県「城崎温泉」等これからも温泉行の予定が入っていて楽しみの一つとなっています。

来月号には温泉紀行を報告したいと思います。



・岡野 泰和

6月から幼稚園も再開し、徐々に新しい生活様式に沿った学園生活を送っています。やっと子どもたちは幼稚園でのびのびと遊ぶことができている。先日は親子で田植えを楽しむことができました。中西部の地域奉仕・環境事業主査としては何もできないまま、不本意な1年が終わってしまいました。大変残念でなりません。

・川岸 清、和田 早苗メネット

コロナ禍の下火とともにやはり開放感を感じずにはいられません。昨日テレビで和民の社長か言っていました、解禁になって、外食でまず食べに行きたいのは、一位焼肉、二位お寿司と言っていました。それで和民も居酒屋はやめて焼肉屋に商売替えだそうです。しかし私達はお寿司派です。回転寿司ですが、少し質の良い回転寿司のところは、シャリが普通か少量と選べるようになってきているので、糖質制限の我が家は安心して頂いています。焼肉屋さん長らく行っていないなあ。

・北村 詔四、京子メネット
 (工藤会長から電話で近況を伺いました)
 元気で過ごしています。
 孫が6人いますが、皆どんどん大きくなって
 いく分自分の年を感じる今日この頃です。

・工藤 義正
 歴史小説は嫌いではありませんが、エンターテイ
 メント色の濃いシリーズ時代小説、とりわけ池波正
 太郎の「仕掛け人・藤枝梅安」「鬼平犯科帳」
 「剣客商売」など読み返しています。
 テレビの古いシリーズ番組もありますが、小説の
 方が断然いいですね。映像がないのでその場面に目
 に浮かび、より映画的です。
 また、池波さんの旅や食のエッセイも性格という
 か、好みがはっきりしていて心地よく読めます。

・小坂井 義文
 (工藤会長から電話で近況を伺いました)
 変わりなく元気です。
 梅田界限の人通りは回復の兆しが見えますが
 地元商店街の店舗はまだまだ大変です。
 土佐堀クラブの7月例会には出席したいと思ってい
 ます。

**近況報告をお寄せくださった皆様、
 ありがとうございました。**

・只野未来の近況報告
 1. 土曜日に公園でバレーボールをチームの方たちと1時
 間半ぐらい行う
 2. 最近『キングダム』を観てる
 3. 手術件数が少しづつ戻りつつあるので少しづつ忙しく
 なってきてる
 4. 久々にWiiFitをしてる

・丹吾 礼
 世の中の「解除」の空気についていけなくて、街中に
 出ることを極力減らしています。
 6月から、3月以降中止していた声楽レッスンをWEB
 で受けることにしました。動画を使ったレッスンでは今
 までとは違う視点を得ることができ、面白いです。

・灰谷 隅夫
 (工藤会長から電話で近況を伺いました)
 変わらず元気です。
 以前のように、たまには好きな囲碁を打ちたいのですが
 相手がいなくて退屈しています。(灰谷さんは囲碁三段)

・福島 眞一
 日常が少しずつ戻ってきました。ハーモニカのレッスン
 も始まりましたし、久しぶりにゴルフにも行きプレーして
 きました。昔読んで本を倉庫から出してきて読み始めまし
 た。ア行の作家からで、扇谷正造・小沢昭一・上前淳一郎
 などを読み返しています。企業小説もたくさん有り、こん
 な本をよく読んでたんだと、チョット感慨深いです。

報告者 工藤義正

大阪千里クラブ最終例会に参加して

6月10日、千里阪急ホテルで大阪千里クラブの最終例会が開催されました。1974年6月にチャーター以来、今月で丁度46年です。残念ですが、その歴史に幕が下ろされました。

例会は内山連絡主事の司会、西井会長代理の開会宣言で始まり、普段と変わらぬプログラムに沿って進められました。晩餐の後、みなさんの短いスピーチがあり、それぞれの思いが語られました。

千里クラブは土佐堀クラブがチャーターした最初のクラブですが、私が入会した何年も前でしたので、当時のことは先輩にお聞きするしかありませんが、ワイズメン運動70周年史によれば、大阪万博を契機に発展する千里ニュータウンに活動を展開するYMCAの支援を視野に入れたクラブ設立でした。

新クラブ発足に向けての準備は1969年当時の森田薫中西部部長の呼びかけで始まりましたが、クラブの立ち上げの中心メンバーの病气や入院で中断し、チャーターまで5年の歳月を要した経緯があり、それだけに発足した時の喜びは一入だったと思います。

中西部の中では北摂千里というオシャレな場所に独特のスマートなイメージを纏ったクラブとして活動を展開されていましたが、最近少ないメンバーながら井上会長を中心に頑張られていたので、今期をもって活動を終わるとお聞きし、一つのキャラクターが消えたようで寂しい思いで一杯です。

これまで、発会以来、長い間活動を続け、支えてこられた千里クラブや関係の皆さんにあらためて感謝申し上げます。

出席は西井メン、岩井メン、内山メン、森田特別メネット(千里)、前田あけみ(森田メネット介助者)、
 ゲスト：中西部から掛谷部長、吉田次期部長、清水部書記、野田事務局長、牟Yサ・ユース主査、
 和田早苗メン(なかのしま)、工藤(敬称略)

報告者 川岸 清

「YMCA 共同の祈り オンライン礼拝」に参加して

標題の礼拝がオンラインで5回にわたって開催され、メネットと共に参加しました。

これは、コロナ禍に喘ぐ世界の現状に鑑み、アジア太平洋 YMCA 同盟からの呼びかけに呼応して日本 YMCA 同盟が企画したもので、まさに日本全国の YMCA 関係者を「ひとつに」した試みでした。メインテーマは「共同の祈り～心をひとつに、思いをひとつに～」(コリントの信徒への手紙 1:10)。コロナ禍で皆、離れ離れになっ

ても、互いに心ひとつに、思いをひとつにして祈り合おう、との趣旨です。
4月10日(金)第1回、中道基夫氏(神戸YMCA 理事長・牧師)による基調メッセージがあり、予定の100人を大幅に超す200人近い方々がアクセスされたとのこと。関心の深さが実感されました。各回の日程とテーマは以下の通りでした。

- 第2回 4月24日(金)「子どもをめぐる現場から」
- 第3回 5月8日(金)「ユースの声を聴く」
- 第4回 5月22日(金)「世界のYMCA、そして女性」
- 第5回 6月12日(金)「会員・ワイズメンズクラブと共に」

毎回、午後6時から6時30分まで(第5回だけ、午後7時から)、そのテーマに関する現状と活動の状況を伝えるVTR、そして祈りを共にしました。最終回では、和田メネットが祈りの一部を担当しました。第2回以降、参加者環境は500人と、大幅に増やされました。各回、終了後、参加者の顔々が映し出され、知人を見つけて声をかけ、旧交を温めました。

以下、参加しての感想です。

・コロナ禍の特徴について医療面を別にして考えてみますと、Social distance という言葉に端的に表されている「人と人との間に距離を置く」ということです。これはYMCAの精神と根本的に相いれない概念です。本来、人間は一人で生きていく存在ではなく、「人」という字が示しているように、互いに支え合って生きる存在です。特にYMCAは、「つながる」ことを大切にして活動を展開しています。「思いやり」「責任感」「誠実さ」「尊敬心」という四つの価値(Value)は、その「つながり」の中で不可欠なものです。このように考えるとき、私は「コロナは悪魔だ」との自論を一層、固くします。悪魔は人と人を「離間させる」からです。悪魔は人と神とを離間させるとも言えます。

今回の「共同の祈り」は、その意味で、悪魔の企てを見事に失敗させつつあります。「つながり」は断ち切られることなく、私たちの絆が一層、強くされつつあるからです。

・「自国第一、保護主義が世界の潮流となっている最近の状況に、コロナが輪をかける様な情勢ですが、私は或ることに気が付きました。”America first”と大統領が叫んでいた、自国第一主義の国、アメリカ合衆国がコロナによる死者数世界一であり、EUから離脱したイギリスがアメリカに次ぐ死者数を出しているということです。現在のような厳しい状況であればこそ、世界が手を取り合って、相互に助け合わねばならないことをしっかり認識しなければなりません。「共同の祈り」はそのことも教えてくれます。

・もう一つ感じていること、それは「夜は必ず明ける」ということ。コロナで苦しんでいる中でも、私たちには希望があるということです。その夜明けを神に祈り、苦闘している人々の為に祈りを合わせ、身近で出来ることを力を合わせてやっつけよう!

「災い転じて福となす」。コロナと言う災いも、今回の「共同の祈り」を通じ、「わたしたちは、離れていても、つながっている」ということを実感しました。

・最後に、今回の企画に多くのエネルギーと愛と時間を注いで実現に導いてくださった同盟の田口総理事、実務担当の横山由利亜さん、ほかの皆様へ深甚の感謝と敬意を表します。



コロナの影響を受ける青少年支援緊急募金

YMCA子ども・ユース・地域支援 ポジティブネット募金

YMCAは地域で暮らす人びと、特に子どもとご家庭に寄り添い、「#はなれてもつながっている」ことを呼びかけ、多様な取り組みを行ってきました。
新型コロナウイルスにより、感染予防をしながら、私だけではない、いま困っている誰かのために募金を行います。

「誰もが夢をかなえるチャンスのある、公正な地域社会の創造」。特に、未来をつくる子どもとユースのために、ご協力をお願いいたします。

※ポジティブネットとは「互いを認め合い高め合えることのできる、善悪や前向きな気持ちによってつながるネットワーク」のこと。
ポジティブネットについては、こちらのページをご覧ください。



誰もが夢をかなえるチャンスのある、公正な地域社会の創造を

- 1. 子どもの学びや体験の機会を提供します。
- 2. ユース世代の学びと生活、将来設計を支援します。
- 3. 地域のシニア世代の見守りと健康づくりを進めます。
- 4. 心ない偏見を生まないよう予防活動を展開します。
- 5. YMCAの諸外国の先進的事例を取り入れ、感染症対策を進めます。
- 6. すべての人に新しい健康づくりを提唱し、心と体、精神にわたる免疫力を高めます。
- 7. 医療、保育、介護、流通等の地域の生活を支える方々を支援します。
- 8. 子どもとご家庭に寄り添い、子どもの成長について保護者とコミュニケーションを図ります。

全国YMCAで7月1日から募金が始まりました。地域のYMCAが窓口になります。詳細はリーフレット・WEBをご覧ください。
YMCAへの寄付金(募金)ですので、ユースリーダー安全支援金・クリスマス献金同様、税制優遇の対象になります。

トントン・インタビューです

No.13

工藤 義正ワイズ

7月のトントンインタビューのゲストは6月まで会長をされていた工藤義正ワイズです。ワイズ歴がもうすぐ40年になると言うベテランです。新型コロナウイルス流行で身動きがとれない中での会長、ご苦労様でした。色々聞いて見ました。

好きな言葉は何ですか？なぜですか？

座右の銘は特にないのですが、“変わらずに生きていくためには変わらねばならない。”です。世の中が変わっていく中でワイズメンズクラブもそうですが、維持・継続するためには変わらなければと思っています。

今は奈良市にお住まいですが、小さいときは大阪にお住まいだったんですね。その当時のことを教えてください。

両親は戦前西区のあみだ池近くに住んでいました。徳島に疎開している間に空襲で焼け野原になり、戦後父が復員してからは港区市岡に仮住まいをしていました。私はそこで生まれました。生まれた年(1950年)の9月にジェーン台風が来て仮住まいが水没してしまい西区堀江に戻ってきました。そこで育ちました。小学校の時から走るのが速くてリレーの選手でした。高校の時には野球部でした。ポジションは色々やりましたが、3年生の時はキャプテンでセカンドをやりました。春の大会では大阪府でベスト8まで行きましたが、夏の大会では2回戦で優勝候補の北陽高校に当たって、同点の9回裏に逆転サヨナラ負けで夢が絶たれました。

大学では何を学ばれたのですか？

大学時代は法学部で民法を勉強しました。損害賠償や不法行為などです。2年生の時に大阪万博がありました。その年にゴルフ場でキャディのアルバイトを始めました。ゴルフの練習も良くやりました。

家業のクリーニング会社にお勤めでした。

そのことについて。

親は1950年頃にクリーニング業を始めました。住み込みの従業員がいたりして、私も学生時代から集配の手伝いをアルバイトとしてやっていました。今はリタイヤしましたが、新型コロナウイルス流行は業界にも大きな影響が有り、早い終息がのぞまれます。

ワイズメンズクラブに入られたきっかけは何ですか？

また、いつ入られたのですか？

1981年2月に入りました。本当は1980年8月に入会予定でしたが体調を崩して入院。翌年になってしまいました。きっかけは、大阪西南ロータリークラブ提唱のローターアクトクラブへの入会で、ローターアクトクラブはユースクラブだったので当時28才の定年が有り、牧口望さんが先にクラブを卒業し、土佐堀ワイズメンズクラブに入っていましたので、誘われて入りました。当時は、大阪YMCAではホテルを経営していて、どちらのクラブもYMCAホテルで例会を開催していました。

ワイズメンズクラブでの思い出で一番の出来事は何か？

2002年～2003年の2回目の会長時代にYMCA近くの江戸堀東公園で子ども達への環境教育としてプレイパーク(わいわい子ども広場)を始め、それから数年間開催したことが思い出深いです。奥田ワイズや、故只野ワイズが入会前でしたがクラブの皆さんとともに支えていただきました。子ども達に遊びの中で環境について覚えてもらいました。

ワイズメンズクラブで一番尊敬できる人はどなたですか？

何人かいらっしゃいますが、川岸さんがブリテンで書かれた鈴木謙介さんが一番です。灰谷さんが区理事をなさっていたときに名誉区理事として西日本区役員会に良く来られていました。父と同年代で“ワイズっぷり”(ワイズの処し方)などの話を色々して頂きました。ワイズメンのロールモデルとしてふさわしい人でした。

コロナウイルス感染症で大変なことになっていますが、ワイズはどうすべきだと思いますか？

顔を合わせたコミュニケーションが出来なくて難しい時代です。例会も含めて変わって新しいスタイルを模索しなければと思っています。従来通りでは上手く行かないと思います。

大きな病気をされたようですが。

年を重ねるとあちらこちらに綻びが出てきます。体にストレスというか、なるべく自分にプレッシャーを掛けないようにしています。

運動神経がとても良いように思います。

ゴルフもお得意ですね。

最高のスコアはどのくらいですか？

ワイズのコンペが太子カントリークラブであったときに35+4277でラウンドしたのが私のベストスコアです。

工藤義正ワイズは同じ年の生まれで、私が入会したときから何かとお世話になってきました。

昔のワイズの話が聞けて、その頃のワイズ活動のようにするにはどうすれば良いのかと考えさせられました。一緒にもう一度大阪土佐堀ワイズメンズクラブを活性化していきたいと思いました。

(ブリテン委員長 福島 眞一)

報告者 丹吾 礼

「西日本区引継式」オンライン配信

2020年6月13日(土)、西日本区引継式がZOOM配信されました。

本来なら、琵琶湖の畔のびわ湖ホールで開催される西日本区大会の中で行われる予定でしたが、コロナ流行のため早くに中止が決定、新旧の西日本区理事と役員・立会人のみが出席され引継ぎ式だけ行われました。京都ウエスタクラブの森田恵三元日本区理事の立会いで、戸所理事から古田理事に引継がれ、続いて新理事の決意表明がスピーチされました。柔軟な視点で、一律的なクラブ像を語られることもなく、一会員、一クラブの個性を大切にしてくれるような印象を受けました。

オンライン配信やZOOMに不慣れな方も多いようで、色々と不具合もありましたが、西日本区がWEBの利用を認めてくれるような気持ちになり、嬉しく感じました。



土佐堀クラブからは、川岸メン、和田メネット、私がオンライン配信に参加していました。参加者数は120程度でしたが、中にはクラブメンバーで集まって・部長交代式をするために部役員が集まって数人一緒に参加されたところもあったので、実際はもう少し多くの方が参加されていたようです。

当初の予定では後日WEBに公開されると聞いています。公開された時は、参加できなかった方もご覧になってくださいね。

大阪土佐堀ワイズメンズクラブ 2020年度役員・委員会・役割

クラブ役員	
会長	岩原義則
次期会長	丹吾 礼
副会長	丹吾 礼
書記	福島眞一
	岩田 晋
会計	丹吾 礼
	川岸 清
会計監査	奥田時夫
直前会長	工藤義正
担当主事	小路清一

委員会		
地域奉仕・環境	奥田時夫	灰谷隅夫
Yサ・ユース	岩田 晋	
E M C	丹吾 礼	小坂井義文
交 流	川岸 清	岩田 晋
広 報	岡野泰和	
ドライバー	岩原義則	
ブリテン	福島眞一	丹吾 礼
メネット	和田早苗	
メール委員	福島眞一	
トスファンド	北村詔四	

その他の役割	
中西部・地域奉仕・環境事業主査	工藤義正
70周年記念事業実行委員長	岩原義則
2021年度次期中西部部長	未 定

今年度は、例会の出欠は福島書記まで連絡して下さい。

(灰谷さんは工藤ワイズが確認します)

会計より

2020年度のクラブ会費の納入をお願いします。
金額・振込先は別途お知らせいたします。前期の納入期限は「8月末」です。

2020

July

TOSABORI

MONTHLY

MEETING

PROGRAM

＜キックオフ例会・中西部部長公式訪問＞

日時：2020年7月21日（火）18：30～

会場：土佐堀YMCA 10階 101号室（チャペル）

会費：1,500円

司会：岩田晋メン

担当：B班 岩田、工藤、北村、小坂井、只野、丹吾

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 開会宣言・点鐘 | 工藤義正会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. ゲスト紹介 | 司会者 |
| 4. 聖句朗読・メッセージ | 工藤義正メン |
| 5. 食前感謝 | 工藤義正メン |
| 6. 晚餐と歓談 | 一同 |
| 7. インフォメーション | 福島眞一書記 |
| 8. YMCAニュース | 小路清一担当主事 |
| 9. 会長交代式・中西部部長・役員 公式訪問 | |
| 10. 土佐堀クラブ会員総会 | 岡野泰和メン |
| 11. TOS ファンドオークション | 岡野泰和メン |
| 12. 誕生日・結婚記念日 | 岩原義則会長 |
| 13. ニコニコ | 司会者 |
| 14. YMCAの歌 | 一同 |
| 15. 閉会宣言・点鐘 | 岩原義則会長 |

★ワイズソング・YMCAの歌 オルガン 和田早苗メネット

★お誕生日の歌 ハーモニカ演奏 福島眞一メン

※オークションの品物を持参してください※

※例会の出欠は、書記福島まで知らせてください※



今月の題字写真
福島メン提供
ガクアジサイ

▽ 今後の予定 ▽

— 7月 —

- | | |
|------------------------|---------|
| 21日（火）クラブ例会（18：30～） | 土佐堀YMCA |
| 28日（火）第二例会・役員会（18：30～） | 土佐堀YMCA |
| 28日（火）ブリテン委員会（19：30～） | 土佐堀YMCA |

— 8月 —

- | | |
|------------------------|---------|
| 18日（火）クラブ例会（18：30～） | 土佐堀YMCA |
| 25日（火）第二例会・役員会（18：30～） | 土佐堀YMCA |
| 25日（火）ブリテン委員会（19：30～） | 土佐堀YMCA |

YMCAニュース

開催中止の場合がありますので
ご注意ください

★第327回早天祈祷会★

日時…2020年7月17日（金）7：30～8：15

※朝食会は実施しません。

奨励…辻 マリア さん

（ホーリーバイブルチャーチ伝道師）

場所…大阪YMCA会館 10階チャペル

★ユースリーダー安全支援金ご協力のお願い★

大阪YMCAでは、YMCA運動を支え発展させていく担い手であるユースボランティアリーダーの安全と研鑽のために、研修などに用いられる募金を行っています。みなさまのご協力をお願いいたします。

【募金方法】 一口 1,000円

【募金期間】 7月18日（土）～9月30日（水）

【受付窓口】 各YMCA、大阪YMCA統括本部（06-6441-0894）

【その他】 クレジットのご利用も可能です。

以下URLからお願いいたします。

<https://kifu.fm/osakaymca/form.php>